
何かが起きた世界で

業将

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

何かが起きた世界で

【Nコード】

N6878P

【作者名】

業将

【あらすじ】

鈴視点。リトルバスターズRefrain1回目エンド前のお話です。

相当重い話となっておりますので、ご注意を。

（前書き）

どシリアスです。

ちよつと重い、カモ・・・。

もともとはアメーバブログに投稿していたものなのですが、
退会するに当たって移転させました。

「まだ——か？」

「それにしても」

あたしが、病室に入ったとたんに、壁の向こうから聞こえてくる、会話。

あたしは、耳を塞ぐことしかできなかった。

[illegible]

あたしは、あの時、

理樹が倒れた後、

確かにもう一度、こまりちゃんに会った。

髪飾り。

こまりちゃんの、髪飾り。

こまりちゃんは、「願い星」だと言っていた。

「……」りんちゃんも、ちゃんと笑っていられますように『」

あの言葉を、もう一度、繰り返す。

理樹は、今、目の前にいる。

でも。

今は、その言葉だけが頼りだった。

理樹は、眠り続けている。

ナルコレプシー。

つまり、眠り病。

それが理樹の病気だ。

だから、眠ってしまうことには、
眠りから覚めないことには、何の不思議もない。

でも。

理樹は、まだ眠り続けている。
蝉の鳴く頃になっても、まだ。

こんなに長く、眠り続けていたことはなかった。

「——じゃ——ですか」

「まさか、——でもあるまいし」

壁の向こうで、何を話しているのか。

ほとんど聞こえなくても、わかる。

理樹が起きないので、みんな不安になってるんだ。

でも。

誰よりも不安なのは、

あたしだ。

「理樹、理樹」

揺さぶっても、起きはしない。

——もしこのまま、ずっと起きなかったら？

あわてて、そんな考えを頭から追い出す。

そんなことはない、と、

自分に言い聞かせる。

でも。

やっぱり不安だ。

「理樹…」

壁にもたれかかる。

そのまま、へなへなと座り込んでしまった。

涙が出そうだったけど、堪えた。

もう、目いっぱい泣いたから。

あたしは、わらってなくちゃならないんだ。

下を向きながら、頬に力を入れた。

わらうんだ。

「鈴つゝ、鈴！」

理樹の声。

やっと、起きたのか。

……おねぼうさんだ。

ばか。

「……理樹」

（後書き）

初めての投稿となります。業将です。

前書きにも書いたとおり、（この作品と次の長編の第1話は）かつて私がアメーバブログに投稿していたものになります。向こうのブログを閉じたので、作品も移転させました。

私は受験生なので、なかなか更新はできないかと思いますが、どうぞ宜しくお願いいたします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6878p/>

何かが起きた世界で

2010年12月30日23時08分発行